

担い手育成特定資産助成事業 活動事例紹介 菊池 伸也さん（西和賀町）

北上地方農林業振興協議会

（中部農業改良普及センター西和賀普及サブセンター）東海林 豊

平成30年に担い手育成特定資産助成事業を活用して運搬車を導入し、野菜経営を行っている、西和賀町の菊池伸也さんを紹介します。

菊池さんは、会社勤務を経て平成27年1月に就農し、現在は、施設いちご栽培（ハウス3棟、9a）に取り組んでいます。

施設いちごは、新規部門として開始したため農業機械を確保する必要があり、担い手育成特定資産助成事業の「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、平成30年10月に中古運搬車を導入しました。

導入後は、暗きょ設置後の土砂搬出のほか、電気牧柵やタンクの運搬などに幅広く活用しています。

菊池さんは、「運搬車は、車の入れない場所にモノを運ぶのに大変役立っている。運搬車を使いモミガラ暗きょを設置したことで排水が良くなった、EC値が下がり塩類集積が改善した。」と話しています。

施設いちご栽培で経営向上に取り組む菊池伸也さんの、ますますの活躍が期待されます。



運搬車を利用して資材を運搬



ますます活躍が期待される菊池伸也さん